

報道関係者各位

2021.4

嵯峨嵐山文華館

「花ごよみー横山大観・菱田春草らが咲きほこるー」 企画展開催



季節をあでやかに彩る花、移りゆく季節。その美しさを留めておきたいと誰もが願い、古来多くの画家が筆をとってその姿を写しました。本展覧会では、横山大観、菱田春草、速水御舟など、近代日本画の巨匠たちから新進気鋭の画家によって描かれた、花々や四季を画題とした作品を展示いたします。

第1章 (1Fギャラリー) ／季節を彩る花と果実

1Fギャラリーでは、幻想的な夜桜を描いた加山又造の大作《おぼろ》に始まり、横山大観による色鮮やかな《桃》、速水御舟《残雪図》の水仙など、近代日本画の巨匠たちによって描かれた華麗な花々がところせましと咲きほこります。



左から、速水御舟「残雪図」、横山大観「桃」、菊池契月「紅葉美人」(部分)

第2章 (2F 畳ギャラリー) ／ 日本の四季を描く

2F 畳ギャラリーでは、各々の個性を生かし「四季」の美しさが表現された作品をご覧ください。

春夏冬それぞれの趣を斬新な構図で表現した、竹内栖鳳・大観・川合玉堂の合作《雪月花》や、四季折々の植物を一枚の画面にバランスよく配置した今尾景年の《余物百種》など、バラエティ豊かな名品の数々をお楽しみください。

作品総数：57点（前期／33点・後期／33点）

初公開作品：21点

担当学芸員：岡田秀之

広報：中島真帆



竹内栖鳳・横山大観・川合玉堂 「雪月花」

第3章 (2F 畳ギャラリー) ／ 移りゆく京の自然

畳ギャラリーの最終展示ケースを飾るのは、京都在住の現代作家・中村七海による作品。花が開いてやがて散り、草が生い茂っていく時間の流れを一枚の絵に表現しようと試みた、力作を展示いたします。7mもの大画面に描かれた京の自然の風景を、どうぞゆっくりとご鑑賞ください。



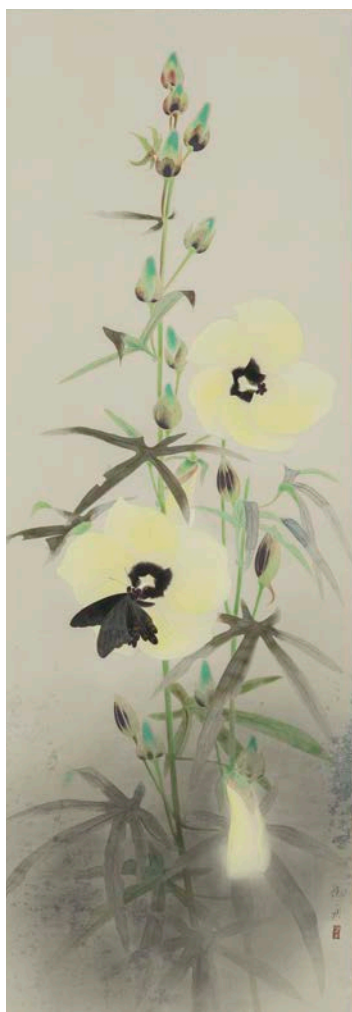
中村七海「桜守」

日時	2021年4月24日(土)～ 2021年7月4日(日) 10:00～17:00 (最終入館16:30)
休館	毎週火曜日 ※但し5/4・5/5(祝)は開館し、5/6(木)は休館
料金	一般・大学生 ¥900(800)/高校生 ¥500(400)/小中学生 ¥300(250) 障がい者と介添人1名まで各 ¥500(400) ※()内は20名以上の団体
主催	嵯峨嵐山文華館・京都新聞
後援	京都府、京都市教育委員会、京都商工会議所

プレス用画像一覧



01_菱田春草「春庭」 (後期展示)



02_速水御舟「露潤」 (前期展示)



03_速水御舟「牽牛花」 (後期展示)



04_横山大観「桃」 (前期展示)

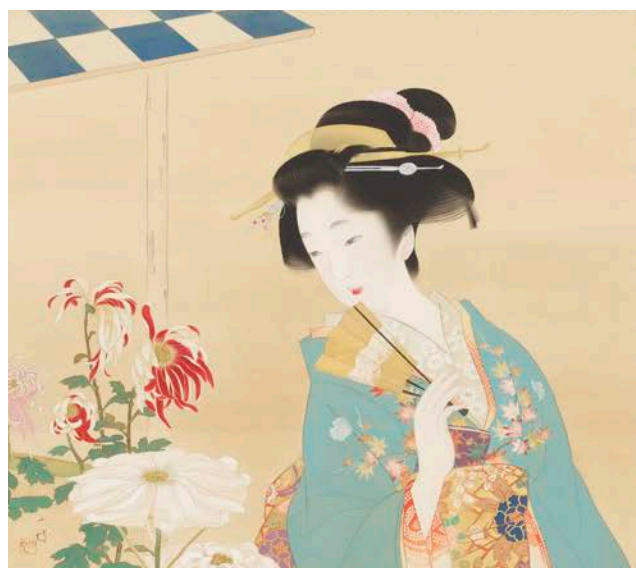
06_土田麦僊
「鶏頭花」
(前期展示)



05_速水御舟「残雪図」 (後期展示)



07_竹内栖鳳・横山大観・川合玉堂
「雪月花」(通期展示)



★08_伊藤小坡「観菊」(前期展示)



09_菊池契月「紅葉美人」
(後期展示)



11_今尾景年
「余物百種」(通期展示)

10_横山大観
「春夏秋冬_秋」(前期展示)

プレス用画像一覧



12_山内信一「十二ヶ月花鳥図屏風」右隻
(後期展示)



13_山内信一
「十二ヶ月花鳥図屏風」
(部分) _1



14_山内信一
「十二ヶ月花鳥図屏風」
(部分) _2



15_中村七海「桜守」
(前期展示)

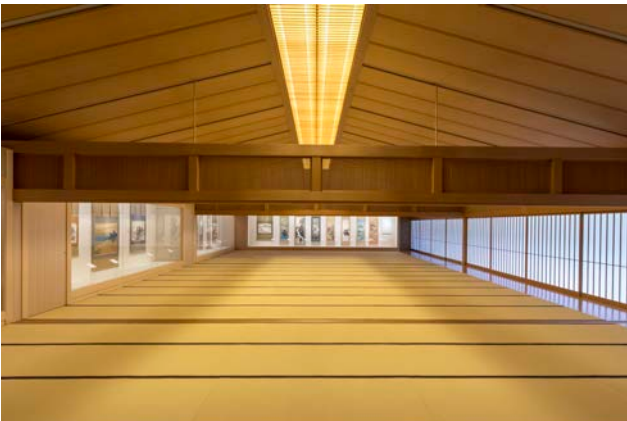
嵯峨嵐山文華館について

百人一首の歴史と日本画の粋を伝えるミュージアム

1000年以上も前から、歌枕として詠まれ、愛されてきた嵯峨嵐山の風景。当館はこの地で誕生したと伝えられる百人一首の歴史やその魅力と、日本画の粋を伝えるミュージアムです。石段を上がり、冠木門をくぐって足を踏み入れると、春はしだれ桜、初夏はサツキツツジ、秋は紅葉、冬は冠雪と、四季の美しさを楽しめる石庭。

百人一首ゆかりの小倉山を背にし、古来より著名な景勝地であった嵐山・大堰川を借景として取り込んだ、二階からの眺めはまさに日本画の世界のようです。

美しい自然とともに、誰もが日本の美を身近に感じ楽しめるよう、シーズン毎に心ときめく企画展と知的好奇心を満たすイベントをお届けいたします。



1F常設展示では100体の歌仙人形（フィギュア）と百人一首の英訳が並び、藤原定家によって百人一首が選ばれた時から昨今人気の競技かるたに至るまでの変遷をご紹介します。

また2Fには120畳の広々とした畳ギャラリーは、じっくり座って自由に鑑賞することも可能。石庭を望む明るいテラスにはカフェスペースが設けられており、景色を楽しみながらお寛ろぎいただけます。



< 嵯峨嵐山文華館概要 >

名称：嵯峨嵐山文華館／Saga Arashiyama Museum of Arts and Culture

住所：〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11

電話番号：075-882-1111（FAX）075-882-1103

メールアドレス：support@samac.jp

ホームページ：<http://www.samac.jp>

運営：公益財団法人小倉百人一首文化財団

交通アクセス：JR山陰本線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩14分／阪急嵐山戦「嵐山」駅下車、徒歩13分／嵐電（京福電鉄）「嵐山」駅下車、徒歩5分

設立：

2006年「百人一首殿堂 時雨殿」として設立

2011年 一時休館

2012年 リニューアルオープン

2017年 一時休館

2018年 11月1日「嵯峨嵐山文華館」としてリニューアルオープン



本展に関するお問い合わせ

嵯峨嵐山文華館 広報事務局（ウインダム内）

TEL 03-6661-9448 FAX 03-3664-3833

Email samac@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9-4F

「嵯峨嵐山文華館」広報事務局

担当：沼澤、多田